

# 掲 示 板

## マッセ OSAKA からのお知らせ

### \* 1 月 の 研 修 案 内 \*

研 修 名	対 象	研 修 実 施 日	申 込 締 切 日
市町村税徴収事務 基本研修	市町村税徴収事務 担当職員	1月16日(水)～1月17日(木)	12月7日(金)
アクセス基礎研修5・6	全職員	1月22日(火)～1月25日(金)	12月13日(木)
クレーム対応研修	全職員	1月24日(木)～1月25日(金)	12月14日(金)
ホームページ作成研修 3・4	全職員	1月29日(火)～2月1日(金)	12月20日(木)
法律研修(民法)	全職員	1月30日(水)～1月31日(木)	12月21日(金)

◆研修の申込方法や対象者等詳しい内容については、各市町村の研修担当へお問い合わせ下さい。

【問い合わせ】マッセ O S A K A 研修課 TEL:06-6920-4567

## 編集担当からのお知らせ

自治大阪のメールマガジンを発行しています。

メールマガジンに登録された方へは、自治大阪各月号のマッセ O S A K A ホームページへの掲載時に、メールによりお知らせいたします。

配信登録や登録内容の変更・配信停止の手続きはこちらまで

⇒ [shichoson-g23@sbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:shichoson-g23@sbox.pref.osaka.lg.jp)

# 掲 示 板

## \* 研修実施報告 ② \*

### ～セクシュアル・ハラスメント防止研修リーダー養成研修～

マッセOSAKAにおきましては、平成15年度から公務研修協議会方式による「セクシュアル・ハラスメント防止研修リーダー養成研修」を実施してきましたが、マニュアル化されたシート方式による研修は誰もが画一的な内容の研修を行なえるという利点がある一方で、多様化するセクシュアル・ハラスメントの中で、グレーゾーン（微妙な行為）や職場で実際に起こっているケースへの対応や相談業務に携る職員へのスキルアップ研修としては難しい一面があります。



このことから、今年度から広島県福山市を中心に「セクシュアル・ハラスメント防止研修」などを数多く実施されている有限会社自分塾の松永悦子氏をお招きし、下記の日程で同研修を実施しました。

この研修の講師に松永氏を選定しました主な理由は、講師活動の指針にあります。その指針とは、「『個』を尊重し、一般常識やマナーを実践する職場は、社員間の良いコミュニケーションはもちろん、仕事を通じて触れ合う、たくさんの方々に関心や安心感を与え、よりよい信頼関係を生み出す。また、ひいては公私のけじめ、仕事による自己啓発、社会への貢献、自己の成長に目を向ける助けとなるよう研修を進めております。受講者自身が楽しんで学び、明るく活躍する姿をイメージしながら日々自分の目標に向かい、社会に生きる同じ人間同士として、講師と受講者、受講者間もお互いを育て合う、相互啓発を目指している。」というものであり、様々なケースに対応できるだけでなく、お互いを尊重しあう職場環境づくりのあり方から学べると考えました。

実際の研修においては、初日、講師から「セクシュアル・ハラスメント防止の研修というものは何も特別な研修ではありません。日々お互いを尊重しあい、相手を思いやる心を持っていれば、防げるものです。」また、「女性の中にも職場のマナーに対する配慮が欠けるような奇抜な服装や化粧で来られる方がたまに見受けられます。快適な職場というものはみんなで作るものだから、こういうことにも注意していただきたい。」といった職場の一人ひとりの基本的な心構えを中心に講義を進められました。2日目からは、相談業務に必要な傾聴力やコーチングなどのスキルを学びながら数多くの演習に取組みました。受講生からのアンケートでは、「自分自身が職場を変えるんだというやる気が起きました。」、「大きな気づきをいただきました。」、「先生のお話の中で自分自身もセクハラをしているかもしれないと気づき、自分の認識不足を実感しました。」といった内容が多く、たいへん実践に役立つ研修であったと思います。

平成19年度 セクシュアル・ハラスメント防止研修リーダー養成研修 日程表

		午 前		午 後			
		9:00	10:00	12:00	13:00	15:00	17:00
7/19 (木)	オリエンテーション		研修の概要について セクシュアル・ハラスメントって？ (感覚・価値観の違いを確認)	昼休み		セクシュアル・ハラスメント原因・背景は？ セクシュアル・ハラスメントのない環境づくり セクシュアル・ハラスメント起こってしまったら？	
7/20 (金)			セクシュアル・ハラスメントのない環境づくりのために 意識付けコミュニケーションのすすめ 相互啓発・アサーティブトレーニング (ロールプレイ・事例研究)	昼休み		セクシュアル・ハラスメント起こってしまったら？ 相談を受ける・解決のために コーチング・傾聴トレーニング (ロールプレイ・事例研究)	

講師：(有)自分塾 代表取締役 松永悦子

(敬称略)

【問い合わせ】 マッセOSAKA研修課 TEL:06-6920-4567

# 掲 示 板

## \* 研修受講者レポート ② \*

～「政策マーケティング研修」に参加して～

島本町教育委員会事務局学校教育課 吉川 展彦



研修中、講師の仲谷先生から「作り手はとかく、使い手のことを考えずに物を作ってしまうがちである」との言葉がありました。残念ながら現状、自治体の住民の中には行政に対し同様の印象を抱いている方が多いのではないかと思います。PDCAの事業管理サイクルの中で課題解決を主とした企画立案を行う、いわゆる行政評価の考え方は本町でも定着しつつありますが、とりわけ企画立案の段階においてその効果やリスクを考量し、実施手段を最適化するための方法論についても、組織全体で研究、共有化する必要があるのではない

か、個人的にはそのような思いを持っています。

一般企業で用いられる「マーケティング」の考え方とは、単なる「市場調査」ではなく、①Product【製品】、②Price【価格】、③Place【流通】、④Promotion【販売促進】の4要素を最適な形で組み合わせることにより「顧客を理解し、売れるシステムを構築する」ことです。これを自治体向けに応用すると、①Product【提供する行政サービス／プログラム】②Price【提供時の価格（コスト意識）】、③Place【提供する場所／認知してもらうための場所】、④Promotion【認知と活用の促進】の4要素を、自治体の置かれた環境を分析した上で戦略的に最適化する活動、「住民を理解し、彼らが望む行政プログラムやサービスを開発し活用される仕組みを作ること」となります。

研修では「A県の大学統合プロジェクト」をテーマとする演習に多くの時間が割かれました。架空のデータを基に仮説を立て、他班の受講者を県民と想定してアンケート調査を実施、回答結果を分析のうえ新大学構想を立案、企画書を作成しプレゼンテーションを行うというものです。

この演習を通じ、住民を顧客グループの集合体と捉え「現状分析から顧客ニーズや競争相手、将来像等に関する仮説を立て、次に仮説検証のための調査を行い、結果の分析により仮説を修正、顧客を具体的にイメージしたうえで提供するサービスの内容や実施手段を最適化する」というプロセスを、体験的に学ぶことができました。

また、分権改革時代を迎え、従来以上に地域ニーズに応じた施策を展開する裁量及び責任を有する今日の自治体において、私たち職員が受身的思考や横並び発想から脱し主体性を獲得するために、マーケティング技法を習得することの必要性についても考えさせられました。

今後は、企画立案の精度を高め、失敗を防ぐための技法や論理的思考について意識的であることはもちろん、政策マーケティングの前提、基本条件とも言える「住民を知る努力」「住民に知ってもらう努力」を惜しまないこと、本来当たり前であるこのような思考を再認識し、担当業務に従事したいと考えています。

短時間に多くの作業を求められる研修でしたが、終了後には苦勞を共にした班員の方々と「大変だったけど楽しかったですね」と笑顔で名刺交換できたことも有意義だったと感じています。最後に、ユーモアを交えつつ多くの貴重な示唆をいただきました講師の仲谷先生、どうもありがとうございました。



【問い合わせ】 マッセ OSAKA 研修課 TEL:06-6920-4567